

2023年11月27日

厚生労働省 健康・生活衛生局
感染症対策部長 佐々木 昌弘 殿

予防接種推進専門協議会
委員長 岩田 敏

5 類移行後の新型コロナワクチン接種における妊婦の位置づけに関する要望書

参加学術団体(23団体):

(公社)日本小児科学会 (公社)日本小児保健協会 (公社)日本小児科医会
(公社)日本産科婦人科学会 (公社)日本産婦人科医会 (公社)日本婦人科腫瘍学会
(一社)日本保育保健協議会 (一社)日本感染症学会 (一社)日本呼吸器学会
(一社)日本渡航医学会 (一社)日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
(一社)日本小児期外科系関連学会協議会 (一社)日本プライマリ・ケア連合学会
(一社)日本環境感染学会 (一社)日本老年医学会 (一社)日本性感感染症学会
(一社)日本女性医学学会 (一社)日本臨床内科医会 日本ウイルス学会
日本ワクチン学会 日本細菌学会 日本臨床ウイルス学会 日本嫌気性菌感染症学会
(順不同)

協議会非参加学術団体(1団体):

日本産婦人科感染症学会

2022年2月21日の健康局長発令「予防接種法施行令の一部を改正する政令の公布について」において、妊婦は新型コロナワクチン接種の努力義務の対象となりましたが(資料1)、2023年4月26日の発令において「五歳以上六十五歳未満の者であって、改正法附則第二条第一項に規定する新型コロナウイルス感染症に係る予防接種を既に二回受けたもの(心臓、肝臓、腎臓又は呼吸器に慢性の機能の障害を有する者その他の厚生労働省令で定める者を除く。)に対しては、適用しない」ことが示されました(資料2)。

一方、厚生労働省ホームページの新型コロナワクチンQ&Aによると、「妊娠中、授乳中、妊娠を計画中的方も、ワクチンの接種勧奨の対象としており、時期を問わず接種をお勧めしています。接種が開始された当初は、妊娠中の方に対する科学的知見が限られていたため、努力義務の適用除外とされてきましたが、現在、高い有効性を示唆するエビデンスがあり、安全性に関する特段の懸念を示唆するエビデンスもないことから、令和4年(2022年)2月21日より、努力義務の適用除外を解除しています。」(資料3)という記載があり、今でも妊婦は努力義務の適用に入っているようにも捉えられます。新型コロナワクチンの妊婦への接種の位置づけが不明確なために、産科医療現場において混乱が生じることが危惧されます。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)、オミクロン株に対する妊婦への新型コロナワクチン接種の重症化予防の有効性が証明され、2023年にLancet誌に掲載されました¹⁾。この研究は、日本を含む18か国での国際共同研究(INTERCOVID-2022試験)で、4,618人の妊婦を対象とした前向き観察研究です。オミクロン株が流行した2021年11月～2022年6月までの8か月間のCOVID-19感染妊婦についての重症化リスクを、新型コロナワクチンの接種方法別に検討されています。COVID-19と診断された妊婦において、ICU入院や死亡といった重篤な合併症のリスクは、複数回ワクチン接種した場合74%(95%CI 48-87)減少、さらに追加接種した場合は91%(65-98)減少となった。mRNAワクチンの場合は、複数回ワクチン接種した場合は79%減少、追加接種した場合は94%減少となった。最終接種からの時間が短いほど重症化しにくい。以上のことから、この研究では、妊婦の新型コロナワクチン接種は依然として優先事項であると結論づけています。

さらに2023年3月30日には、世界保健機関(WHO)が新型コロナワクチンの優先接種対象者をアップデートし、オミクロン株の感染状況下では、最終のワクチン接種が6か月以上前の妊婦に対する新型コロナワクチンの追加接種がHigh-priority groupの1つとして位置付けられています²⁾。

5類移行後は、新型コロナワクチン接種の努力義務は、65歳以上の高齢者や一定の基礎疾患を有する方に限られています。妊婦についても、基礎疾患がある妊婦や重症化リスクが高いと医師が認めた妊婦には、努力義務が課せられることを記載いただきたいと思います。

産科医療現場での新型コロナワクチンの妊婦への接種が混乱しないように、確固たるエビデンスと世界的な対応を考慮していただき、妊婦の位置づけを記載していただくことを要望致します。

文献)

- 1) Villar J, et al., for the INTERCOVID-2022 International Consortium, Pregnancy outcomes and vaccine effectiveness during the period of omicron as the variant of concern, INTERCOVID-2022: a multinational, observational study, Lancet 2023; 401: 447-57
- 2) WHO SAGE roadmap on uses of COVID-19 vaccines in the context ofOMICRON and substantial population immunity, Last update 30th March, 2023
<https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/366671/WHO-2019-nCoV-Vaccines-SAGE-Prioritization-2023.1-eng.pdf?sequence=1&isAllowed=y>

資料)

- 1) 厚生労働省健康局長、予防接種法施行令の一部を改正する政令の公布について、2022年2月21日発令
- 2) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律の一

部の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令の一部を改正する政令等の公布について、
健発0426第2号、令和5年4月26日発令

- 3) 厚生労働省ホームページ、新型コロナワクチンQ&A、「これは本当ですか？ 私は妊娠中・授乳中・妊娠を計画中ですが、ワクチンを接種することができますか？」 <https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0027.html>